

みてよいであろうし、数字の上ではでてこないが、かなりの発生があるとみられ、新しい帰化

雑草として国内に定着する要素は充分と思われるので、今後の研究を進めたい。

昭和53年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度冬作関係除草剤の作用性および適用性試験成績検討会は、8月28日、国立教育会館(東京)において開催した。

本年度の供試薬剤はのべ40薬剤で、作用性試験として8点、適用性試験はのべ138点が実施された。

また、水田裏作麦類用既登録除草剤の最近の

栽培法に於ける見直しを含めた連絡試験も同時に実施したが、これは4場所で5薬剤が供試された。

供試薬剤の成分は第1表に示す通りである。

検討会は、各薬剤別に試験結果の報告、検討ののち、実用化に対する判定を行ない、同日公表したが、その概要をここに報告する。

第1表 昭和53年度冬作関係除草剤の有効成分および判定結果一覧表

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
麦類 (1) 小麦	1). HOK-15	水和	・成分未公開	北興化学	作用性	—	
	2). S-28	乳	・0-エチル-0-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリーブチルホスホロチオアミデート:ブタミホス 50%	U-クレマート研究会	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。 今後、地域拡大、条件拡大の検討。
	3). HOK-7501	乳	・2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸S-エチル:フェノチオール 20%	北興化学	適用性	継	効果、薬害につき処理時期、処理量を配慮して再検討。
	4). B-3015・P	粒	・S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメイト:ベンチオカーブ 8% ・2-メチルメルカプト-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン:プロメトリン 0.8%	クミアイ化学	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。 今後、地域拡大、条件拡大をはかる。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(1) 小麦 (つづき)	5). CAT・IPC	水和	<ul style="list-style-type: none"> ・2-クロロ-4,6-ビスエチルアミノ-s-トリアジン：CAT 10% ・イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメート：CI-IPC 30% 	日産化学	適用性	継	葉害を中心に再検討の要。
	6). SL-531	混合	<ul style="list-style-type: none"> ・C剤 45.8% ・B剤 50% 	石原産業	適用性	継	成分未公開。 更に効果・葉害の検討を要す。
	7). MOUH	水和	<ul style="list-style-type: none"> ・2,4,6-トリクロロ-4'-ニトロフェニルエーテル：ONP 50% ・3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチルウレア：リニュロン 10% 	三井東圧化学	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。 今後、地域拡大をはかる。
	8). DBN	水和	<ul style="list-style-type: none"> ・2,6-ジクロロベンゾニトリル 45% 	兼商	適用性	実・継	生育初期(スズメノテッポウ1.5Lまで)処理で暖地追加、新たに温暖地東部で播種後土壌処理の使用基準作成。
	9). DBN	粒	同上 1.0%	同上	適用性	実・継	暖地、生育初期(スズメノテッポウ1.5Lまで)で実用化可能。 更に効果確認、地域拡大をはかる。
	10). AH-501	液	成分未公開	旭化成工業	適用性	継	成分未公開。
	11). KT-59	水和	成分未公開 50%	協和醗酵	適用性	継	広葉類に対する効果は認められる。 成分未公開。
	12). SSH-42	乳	<ul style="list-style-type: none"> ・メチル-5-第3ブチルイソキサゾール-3-イル-カーバメート 40% 	塩野義製薬	適用性	継	葉害を中心に、処理時期・処理量について再検討。
	13). トリフルラリン	粒	<ul style="list-style-type: none"> ・α, α, α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ- 	同上	適用性	実・継	温暖地東部、暖地で播種後土壌処理で実用化可能。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(1) 小麦 (つづき)	13). トリフル ラリン (つづき)		トルイジン 2.5%				更に、効果確認、 適用地域の拡大をは かる。
	14). SL-532	混合	・A剤 24% ・B剤 50%	石原産業	適用性	継	成分未公開。
	15). SL-533	混合	・A剤 24% ・C剤 45.8%	同上	適用性	継	成分未公開。
	16). プタクロ ール	粒	・2-クロロ-2,6'-ジエ チル-N-(ブトキシメ チル)アセトアニリド: プタクロール 5.0%	マーシェッ ト普及会	適用性	継	広葉雑草に対する 問題、薬害など再検 討。
	17). MB-206	水和	・3-(3,4-ジクロロフ ェニル)-1-メトキシ -1-メチル尿素 50%	丸和バイオ ケミカル	適用性	継	更に効果・薬害の 検討要する。
(2) 大麦類	1). HOK-15	水和	・成分未公開	北興化学	作用性	—	
	2). S-28	乳	・ブタミホス 50%	U-クレマ ート研究会	適用性	実・継	前年通りの使用基 準で実用化。 更に、地域拡大、 条件の拡大をはかる。 (二条大麦)
	3). B-3015- P	粒	・ベンチオカーブ 8% ・プロメトリン 0.8%	クミアイ化 学	適用性	実・継	裸麦に対して適用 性が認められた。 今後、地域拡大、 条件拡大をはかる。 (二条大麦、裸麦)
	4). ANK-553	乳	・N-(1-エチルプロピ ル)3,4-ジメチル-2, 6-ジニトロベンゼンア ミン 30%	ANK-研 究会	適用性	実・継	裸麦への適用性が 認められた。 更に地域拡大、条 件拡大をはかる。 (二条大麦、裸麦)
	5). CAT・IPC	水和	・CAT 10% ・O1-IPC 30%	日産化学	適用性	実・継	播種後土壌処理、 生育初期処理で温暖 地西部以西で実用化 可能。 今後、効果確認、 適用地域拡大をはか る。(二条大麦、裸 麦)
	6). MOUH	水和	・ONP	三井東圧化 学	適用性	継	裸麦への拡大可能。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(2)大麦類 (つづき)	6). MOUH (つづき)		・リニューロン 50% 10%				今後、地域拡大、 条件拡大をはかる。
	7). AH-501	液	・成分未公開	旭化成工業	適用性	継	成分未公開。
	8). KT-59	水和	・成分未公開 50%	協和醗酵	適用性	継	広葉雑草には有効、 成分未公開。
	9). SSH-42	乳	・イソキサム 50%	塩野義製薬	適用性	継	効果、薬害につき 更に検討を要する。
	10). トリフルラ リン	粒	・トリフルラリン 2.5%	同上	適用性	実・継	二条大麦に対して、 温暖地で適用性が認 められた。 今後、確認と適用 地域、条件の拡大を はかる。(二条大麦)
	11). DCMU	水和	・3-(3,4-ジクロルフ ェニル)-1,1-ジメチ ル尿素 78.5%	丸和バイオ ケミカル	適用性	継	薬害等更に検討。
	12). DBN	水和	・2,6-ジクロルベンゾ ニトリアル 45%	兼商	適用性	実・継	裸麦に対して適用 性が認められた。 今後、更に効果確 認、地域・条件拡大 をはかる。(二条大 麦、裸麦)
	13). DBN	粒	・同上	同上	適用性	実・継	温暖地西部で適用 性が認められた。 今後、適用条件・ 地域拡大をはかる。 (裸麦)
14). プタクロー ル	粒	・プタクロール 5%	マーシェッ ト普及会	適用性	継	更に検討を要する。	
(3) いぐさ	1). NK-049- S	粒	・3,3'-ジメチル-4-メ トキシベンゾフェノン： カヤメトン 8% ・2-メチルチオ-4,6- ビス(エチルアミノ)- s-トリアジン：SAP 3%	日本化薬	適用性	実・継	土壌処理(ノビエ 発生前4月上旬) で、温暖地西部に適 用性が認められた。 今後、ノビエに対 する効果確認と適用 地域・条件の拡大を はかる。
	2). NKB-1	粒	・3,3'-ジメチル-4-メ トキシベンゾフェノン：	日本化薬、 クミアイ化学	適用性	継	本年度は薬害もな く、効果も安定して

対象作物	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の 種 類	判 定	判定理由および内容
(3) いぐさ (つづき)	2). NK B-1 (つづき)		メトキシフェノン ・ S-(4-クロロベンジル) N, N-ジエチルチオカーバメート：ベンチオカーブ 5%				いるが、初年目でもあり、更に検討、確認する。
	3). OG-102	粒	・ 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2'-ジメチルプロピルアミノ)-s-トリアジン：ジメタメトリン 1.1% ・ S-(2-メチル-1-ピペリジル-カルボニルメチル)-0,0-ジ-n-プロピルジチオホスフェート：ピペロホス 4.4%	アピロサン・ワイダー普及会	適用性	継	除草効果は組み合わせ処理で高く、被害も問題がない。 今後、効果確認の検討が必要である。
(4) 水稲刈跡	1). NC-101・H	微粒	・成分未公開 (既知化合物混合)	日本カーリット	適用性 〔マツバイ(ミズガヤツリ)〕	継	更に処理時期、処理量の検討を要する。
	2). MCP・BAS	液	・ 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸ナトリウム：MCP (Na) 6% ・ 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジン-(4)-3H-オン-2,2-ジオキシドNa塩：ペンタゾン (Na) 30%	グラスジン普及会	適用性 〔ミズガヤツリ〕	実・継	温暖地東部が適用地域として追加。 今後、適用地域・条件拡大をはかる。
	3). MCP・BAS	液	・ MCP (Na) 6% ・ ペンタゾン (Na) 30%	同 上	適用性 〔ホタルイ〕	継	1地域1点の試験であり、更に効果の確認と地域・条件拡大をはかる。
	4). GW-7	液	・ マレイン酸ヒドラジドコリン塩 58%	ヒロバートル研究会	適用性 〔ウリカワ〕	継	効果不足につき、更に処理時期・薬量の検討が必要。
	5). GW-7	液	・ 同 上	同 上	適用性 〔ミズガヤツリ〕	実・継	効果が変動。 今後、更に処理時期・処理量の検討。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(4) 水稲刈跡 (つづき)	6). GW-7	液	・マレイン酸ヒドラジドコ リン塩 58%	ヒロバトール研究会	適用性 〔オモ ダカ〕	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。

第2表 昭和53年度冬作関係実用化除草剤使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
小麦	S-28乳	土壌処理	播種後	㊟ 30 ml / a	砂壤土 ～埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 〔水田裏作〕
	B-3015・P粒	土壌処理	播種後	㊟ g / a 400 ~ 600	壤土～埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 〔水田裏作〕
				㊟ g / a 300 ~ 400	砂 壤 土		
	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 300 ~ 500	壤土～埴土	温暖地西部 以西		
			㊟ g / a 300 ~ 400	砂 壤 土			
	MOUH水和	土壌処理	播種後	㊟ g / a 40 ~ 60	壤土～埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、葉害が出やすいので注意する。 〔水田裏作〕
				㊟ g / a 40 ~ 50	砂 壤 土		
	DBN水和	土壌処理	播種後	㊟ g / a 20 ~ 25	壤土～埴土	温暖地東部	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 2). イネ科一年生雑草優占圃場を対象とする。 〔水田裏作〕
		生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 20 ~ 25	壤土～埴土 埴 土	温 暖 地 暖 地	
	DBN粒	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 500 ~ 600	埴 土	暖 地	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 2). イネ科一年生雑草優占圃場を対象とする。 〔水田裏作〕
トリフルラリン 粒	土壌処理	播種後	㊟ g / a 400 ~ 500	砂壤土 ～埴土	温暖地東部	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 〔水田裏作〕	
				壤土～埴土	暖 地		

区 分	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
大 麦 類	S-28 乳	土壌処理	播 種 後	㊟ 30ml/a	砂壤土 ～埴土	温暖地以西	1). 覆土・整地をていねいに行って散布する。 2). 対象 (二条大麦) 〔水田裏作〕
	B-3015・P粒	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 400～500	壤土～埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
				㊟ 300g/a	砂 壤 土		
		生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g/a 300～500	壤土～埴土	温暖地西部 以西	
				㊟ g/a 300～400	砂 壤 土		
	ANK-553乳	土壌処理	播 種 後	㊟ ml/a 30～50	砂壤土 ～埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、葉害が出易いので注意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
	CAT・IPC水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 20～30	壤土～埴土	温暖地西部	1). 砕土・整地をていねいに行って、著しく浅い覆土はさける。 2). 土壌の多湿な場合は使用をさける。 3). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
				生育初期 処 理			
			㊟ g/a 20～30	埴壤土 ～埴土	暖 地		
MOUH 水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 40～60	壤土～埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、葉害が出易いので注意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕	
			㊟ g/a 40～50				砂 壤 土
トリフルラリン 粒	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 400～500	壤土～埴土	温暖地東部 暖 地	1). 砕土・整地・覆土をていねいに行って、均一散布に留意する。 2). 対象 (二条大麦) 〔水田裏作〕	
DBN 水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 20～25	壤土～埴土	温暖地西部	1). 砕土・覆土はていねいに行って、均一散布に留意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕	
	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g/a 20～25	壤土～埴土	温 暖 地		

区 分	薬 剤 名	処 理 法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
大麦類 (つづき)	DBN 粒	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	⊕ g/a 500 ~ 600	壤土~埴土	温暖地西部	1). 砕土・覆土はてい ねいに行って、均一 散布に留意する。 2). 対象(裸麦) 〔水田裏作〕
いぐさ	NK-049・S粒	土壌処理	ノビエ発生 前(4月上 ~中旬)	⊕ g/a 400 ~ 500	埴 壤 土	温暖地西部	1). 冬雑草を有効除草 剤で防除した後使用 する。
水稲刈跡	MCP・BAS液	茎葉処理	水稲刈取後 塊基形成始 期(9月中 ~下旬)	⊕ ml/a 40 ~ 60	全 土 壤	温暖地東部 及び暖地の 早期栽培	1). 茎葉によく付着す るように散布する。 2). 対象(ミズガヤツ リ)。

註：1). アンダーライン(実線)は、本年度拡大された部分(なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて
使用基準の作成されたもの)。

2). アンダーライン(点線)は、その1部が拡大されたもの。

植 調 協 会 だ よ り

◎ 第15回評議員会・常任評議員会開催す

昭和54年9月11日(火)、国立教育会館(東京都千代田区霞が関3-2-3)において、評議員109名中79名(委任状を含む)出席のもとに開催した。開会に際し、当協会吉沢専務理事が挨拶し、今回は特に重要な事項がないので、評議員会と常任評議員会を合同で開催した旨を述べ、全員の賛同を得た。ついで、議長の選任に入り、望月雅郎(住友化学工業)が議長に選任され、次の件につき審議の上、万場一致で可決された。

昭和54年度水稲・畑作関係除草剤試験展示圃成績地域検討会日程表

地域	期 日	会 議 日 程	開 催 場 所
関東・東山・東海地域	10月30日(火)	10:00 ~ 17:00 水稲関係(分科会) 畑作関係(分科会)	「クミアイ化学工業ビル」 5F大会議室 台東区池之端1の4の26 TEL 03(823)1701
	10月31日(水)	9:30 ~ 17:00 水稲関係(分科会) 展示圃関係(分科会)	

(1) 昭和55年度評議員会費については、前年通りの算定基準を用いることとして審議された結果、原案通り可決された。

(2) 続いて、次の事項につき報告された。

- ・ 昭和53年度事業報告および決算。
- ・ 昭和54年度事業計画および予算。
- ・ 植調会館・資料館の建設。
- ・ ブラジル植調の設立および予算。
- ・ 諸規程の一部改正。

◎ 会議開催日程のお知らせ

昭和54年度水稲・畑作関係除草剤第二次適用性試験および展示圃試験の成績検討会を、下記日程表により地域別に開催することになった。